

ごみ問題について知ろう

? ごみ問題って何?

私たちが出すごみが増えすぎて、処理が追いつかなくなっていることです。まちにごみがあふれたり、ごみを燃やすことで二酸化炭素が排出され地球温暖化につながる問題も含まれます。ごみが大量に出されることで、起きる問題を勉強していきましょう!



? ごみが増えるとどうなるの?

ごみが大量に出されることで地球温暖化・埋立地の不足・環境汚染などが起きてしまいます。

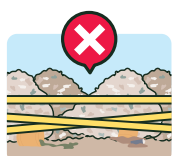
地球温暖化

ごみを運んだり、燃やしたりすると地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素が発生します。たくさん二酸化炭素が出されると地球温暖化がますます進みます。



埋立地の不足

ごみは、燃やされたあと埋立地に送られ、埋め立てられます。ただし、埋立地にも限りがあり、大量のごみを出し続けると、埋立地がいっぱいになってしまい、ごみの処理に困ってしまいます。(p.15参照)



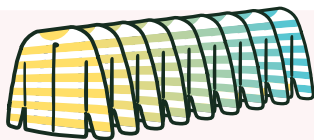
環境汚染

ごみのポイ捨てなどにより、山や川、海が汚れた環境に悪い影響を与えてしまいます。



? なぜごみ問題が起こるの?

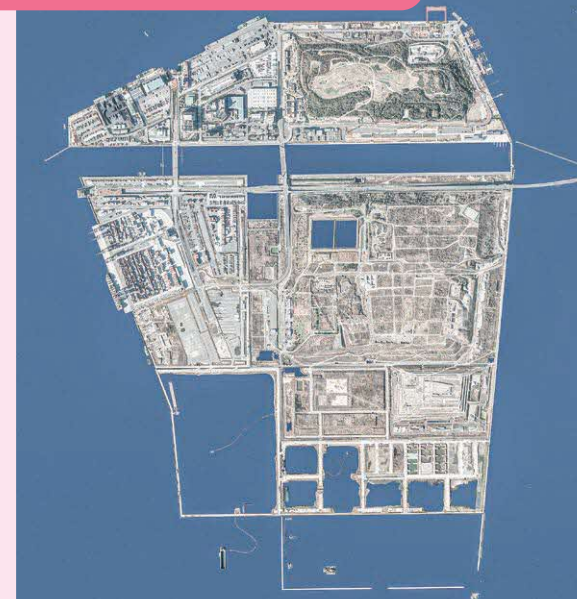
生活が豊かになって、ものを大量に作ったり、大量に消費するようになってきました。まだ使えるものでもすぐに新しく買い替えたり、ものを使い捨てするようになってしまい、ごみが大量に増えていきました。



埋立処分場を見てみよう

埋立処分場というのは、ごみを埋め立てている場所のことです。墨田区のごみが最後にたどりつくのが、東京湾にある埋立処分場です。

『© 東京都』『資料提供：東京都港湾局』



処分場確保の難しさ

埋立処分場の埋め立てる場所には限りがあり、あとおよそ50年がいっぱいになると言われています。東京23区では、新海面処分場が最後の埋め立て地です。東京湾の航路関係等により、これ以上大きくすることができません。このままごみを出し続けると、ごみの行き場がなくなってしまいます。そのため、一人ひとりがごみを減らすように、生活することが大切です。



地球温暖化が進むとどうなるの?

ごみを運んだり、燃やしたりすると地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素が発生します。二酸化炭素が増えると地球が暖かくなりすぎて、環境に大きな影響が出ます。

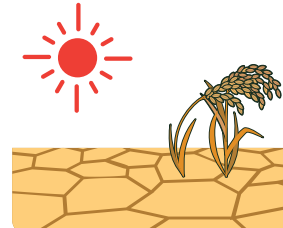
自然

台風や大雨の日が増え、洪水が起きやすくなります。



農作物

日照りが続き、畑や田んぼの作物が育たなくなります。



動物

北極や南極の氷がとけ、動物が生きられなくなります。



人間

暑い地域でしか発生しない感染症にかかる人が増えます。



わたしたちにできること

スリーアール

3Rとは？

Reduce、Reuse、Recycleをまとめて“3R”といいます。

3Rは、環境にやさしいまちをつくり、ごみを出さないためのキーワードです。

スリーアール じゅんばん
3Rの順番も
大切にニャ

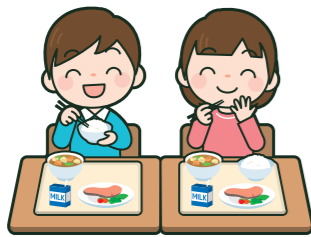


1番
大切な

リデュース Reduce

リデュースは英語で「減らす」という意味があります。
一人ひとりが、できるだけごみを出さない生活をするのが大切です。

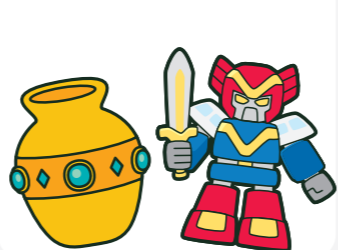
食事は残さず食べよう



使い捨てのものは使わない



本当に必要か考えよう



長く使えるものを選ぼう



マイバッグを持っていこう



買ってもらったものは大切に使う



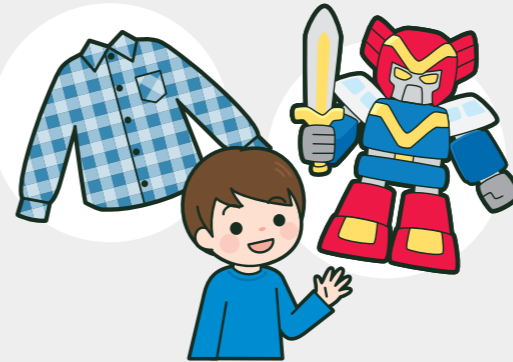
今日からできるリデュースを書いてみよう！

2番目に

リユース Reuse

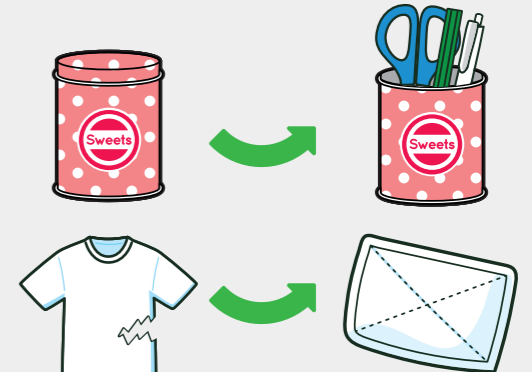
リユースは英語で「そのままの形でもう一度使う」という意味があります。
一度使い終わったものをすぐごみにしないで、工夫して使ってみましょう。

必要な人へあげる



着られなくなった服や使わないおもちゃなどは、必要としている人へあげましょう。

工夫して使ってみよう



いらなくなったものでも、工夫すれば新しい使い方ができるかもしれません。

最後に

リサイクル Recycle

リサイクルは英語で「もう一度資源として使う」という意味があります。資源は、ものを作るための原料や燃料にもどしてから新しい製品にして使います。
リサイクルするには、エネルギーと人手、費用がたくさんかかります。リサイクルは、最終手段として覚えておいてください。

リサイクルの方法



まずは資源に分別することがリサイクルの第一歩ニャ！



清掃事務所の仕事

どんな仕事をしているの？

清掃事務所の仕事は、エッセンシャルワーカー（日常生活を続けるために必要な職業のこと）と言われています。

清掃事務所では、みんなが集積所に出したごみや資源を集め、清掃工場などの処理施設に運んでいます。

墨田区では、古紙、缶、びん、ペットボトルの資源回収を週1回、プラスチックの資源回収を週1回、燃やすごみを週2回、燃やさないごみを月2回、粗大ごみは申込みがあった時に集めています。



ごみ集積所の看板

墨田区には、集積所が15,732か所あります。資源・ごみステーションが6,304か所、マンションが2,532か所、戸別収集が6,896か所です。



ごみ収集の工夫

広い道路だけではなく、狭い路地裏までごみを取りに行くこともあるので、自転車や歩行者などの周囲の安全確認を行いながら作業をしています！



半透明の袋をパッと見て、危険物や間違った品物が入っていたら袋を開けて、正しく分別したり、注意を促したりしています。



収集ルート

ごみを収集して、清掃工場まで運搬する作業を1日5～8回行います！



よく使う道具

清掃作業ではこんな道具をよく使っているよ！



ヘルメット

反射テープ

厚い手袋

安全靴



清掃工場の役目

清掃工場では、燃やすごみを燃やしています。

ごみの大きさを小さくする

埋立処分場が少しでも長く使えるようにする工夫をしています。



においやハエ、細菌の発生を防ぐ

生ごみをそのまま埋めると、いやなにおいやハエが発生したり病気が広まる原因になるので、ごみを燃やしてどちらも防いでいます。



空気をよごさないようにする

ごみの他に、においの付いている空気や細菌も一緒に燃やしてしまいます。有害なガスが発生しないように、900度以上の高温で燃やします。燃やして出た空気は、フィルターや薬品できれいにします。えんとつから見える白いけむりのようなものは、水蒸気です。



燃やすときに出る熱エネルギーを利用して

墨田清掃工場では、ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用しています。つくられた電気や高温水は、工場の機械を動かしたり、近くにあるすみだスポーツ健康センターで利用したりしています。また、あまった電気は電力会社に売っています。



東京二十三区清掃一部事務組合

東京二十三区清掃一部事務組合とは、東京23区が集まってごみの処理をしている組織です。1つの区だけではごみの処理が大変であるため、23区が協力してごみの処理をしています。

東京二十三区清掃一部事務組合では、中間処理と呼ばれる収集されたごみを最終処分場へ運ぶ前に燃やしたり、砕いたりして処理することを行っています。

写真提供：東京二十三区清掃一部事務組合

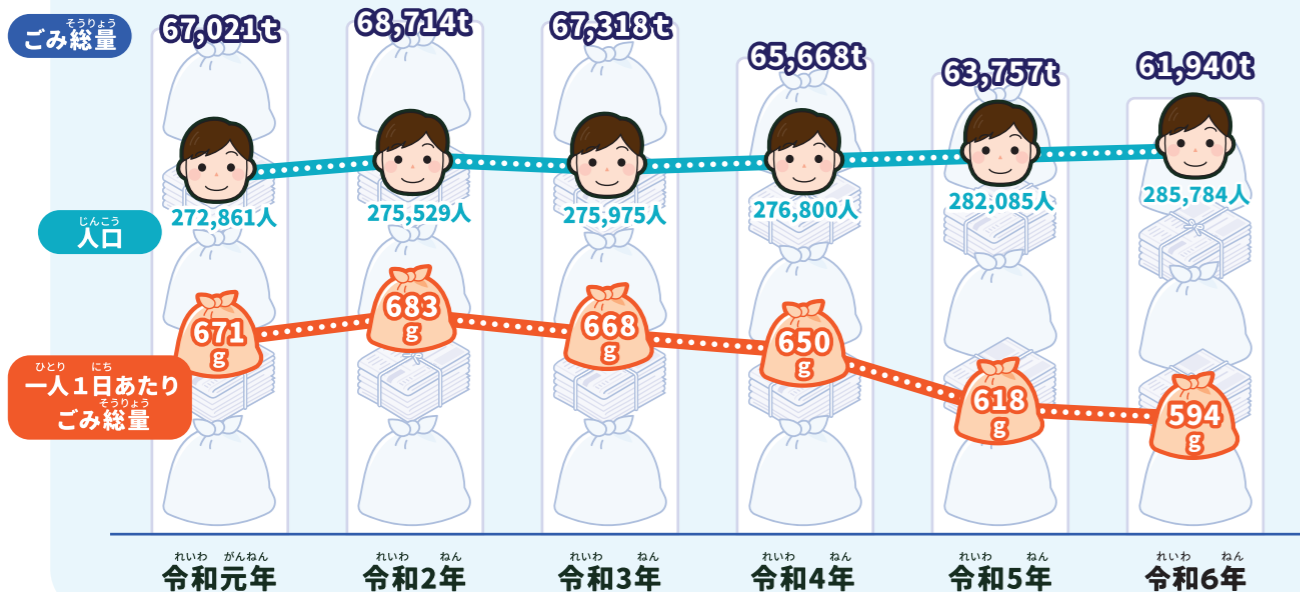


墨田清掃工場もここが管理・運営しているんだニャ

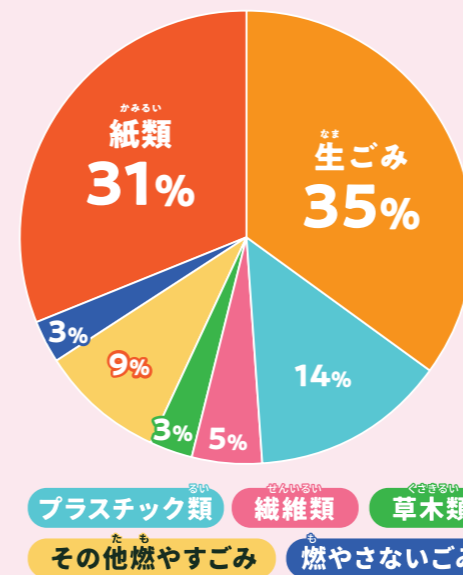


すみだく 墨田区のごみのことを知ろう

すみだく 墨田区のごみの総量



すみだく 墨田区の燃やすごみの内訳



一番多く捨てられているのは生ごみです。生ごみの中には、使っていない食品や食べ残しも含まれています。出たしまった生ごみは、水分を切って出せば、ごみの量を減らすことができます。分別すれば資源になる紙類も二番目に多く捨てられています。少しの行動や工夫で、ごみを減らすことはできるので積極的に行動してみましょう！

ちょっとした心がけてごみを減らすことができるんだニャ！



すみだく 墨田区の1年間のごみの総量

すみだく 墨田区の総量

墨田区が1年間に集めたごみ総量は、約61,940tでした。

約 **61,940t**

これは、25mプール約991杯分と同じ量です！

※縦25m、横10m、深さ1mのプール
1㎡につき、250kgに換算
(墨田区規則第44条による)



すみだく 墨田区民一人あたりの総量

墨田区民一人が1日に出すごみ総量は、約594gでした。

約 **594g**

これは、ピーマン約17個分と同じ重さです！

※ピーマン1個を35gで計算

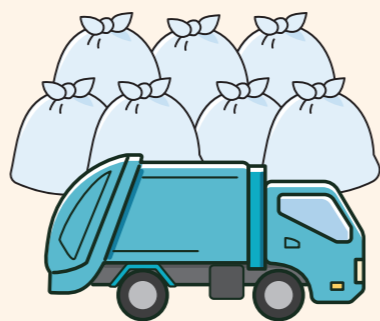


すみだく 1日あたりの収集車の台数

墨田区内のごみを運ぶ収集車の台数は、1日あたり196台でした。

墨田区では、燃やすごみの収集に126台、燃やさないごみの収集に13台、プラスチックの収集に25台、粗大ごみ収集に32台を使って作業をしています。

1日あたり **196台**

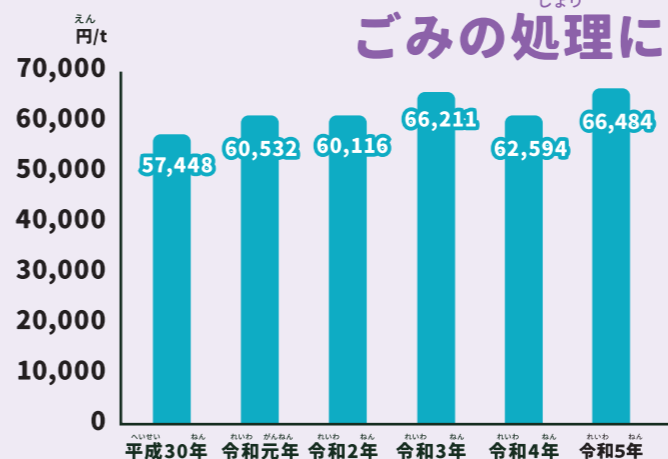


すみだく 墨田区のごみの減量目標

墨田区では、区民やお店・会社のごみ減量を進めていくための目標などを示した計画を作っています。この中で、令和12年度までに区民一人1日あたりのごみ総量を551gまで減らすことを目標にしています。



すみだく 墨田区のごみの処理にかかる費用



お家から出るごみを処理するには、費用がかかります。左のグラフは、1tのごみを処理する費用を表しています。5年前と比べて、費用が高くなっているのがわかります。ただし、毎年費用は変わるけど、みんながごみを減らす努力をすると、費用をその分減らすことができます。ごみを減らす工夫をみんなで取り組んでいきましょう！

資源を循環させよう

プラスチックをリサイクルしよう!

? なんでプラスチックを回収するの?

プラスチックは日常に欠かせない素材ですが、プラスチック製品が作られてから捨てられるまでの間でたくさんの二酸化炭素が発生し、地球温暖化を加速させています。

また、捨てられたプラスチックは海が汚れる原因となり、海の生き物に大きな影響を与えています。プラスチックを回収し、リサイクルすることで、環境にやさしいまちを実現することにつながります。



墨田区内のプラスチックを再利用して、僕が作られたニャ

墨田区の取組

プラスチックの出し方、ボトルtoボトル

墨田区では、今まで燃やすごみとして収集していたプラスチック類を、令和6年4月から「プラスチック資源」として収集するようになりました。資源として回収したプラスチックは、リサイクルにより新たなプラスチックの原材料などに再生されます。

また、プラスチックのうちペットボトルはリサイクルして、新しいペットボトルに再利用する「ボトルtoボトル」事業に取り組んでいます。



食品ロスを減らしていこう!

? 食品ロスってなんだろう

食品ロスとは、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことです。



家庭における食品ロスの例

- 賞味期限や消費期限を過ぎてしまい捨てられたもの
- 料理するときに野菜の皮をむきすぎて、食べられる部分まで捨てられたもの
- 食べきれずに残したもの

「食べきり推奨店」の実施

墨田区では、食べ残し・食品ロスの削減に取り組むお店などを「墨田区食べきり推奨店」として登録し、その取組を多くの人に広める「墨田区食べきり推奨店登録事業」を実施しています。



フードドライブ

フードドライブとは、お家で食べる予定がない食べ物を集めて、必要としている人たちに渡す活動のことです。墨田区では、いつでもフードドライブの受付ができる常設窓口と月2~3回のイベント回収でのフードドライブを実施しています。集まった食品はフードバンクなどを通じて、それを必要とする方々の支援に活用されています。



※フードバンクとは、食品の寄付を受け、それらを必要とする施設や人に届ける活動及び団体のことです。

すみだく せかい てほん 墨田区が世界のお手本となれるように

みんなもイベントに参加して
みるニャ!



すみだく おこな えすでいーじーず 墨田区が行っている SDGs

えすでいーじーず ねん がつ こくれん さいたく
SDGs は、2015年9月の国連サミットで採択された
せかい か こくさいてき もくひょう ちきゅうじょう だれひとり
世界を変えるための国際的な目標です。地球上の誰一
と のこ しゃかい じつげん めざ ねん
人取り残さない社会の実現を目指し、2030年までに
けいざい しゃかい かんきょう しょ かだい かいけつ
経済・社会・環境の諸課題を解決しようとするものです。
もくひょう 17 169
17の目標と169のターゲットで構成されています。
すみだく とりくみ つか じてんしゃ かいしゅう
墨田区の取組例：使わなくなった自転車を回収し、
はってんとじょうこく さいりょう もくひょう ばん
発展途上国で再利用(リユース)してもらう(目標12番)



すみだく えすでいーじーず みらいとし 墨田区はSDGs未来都市!

ねんど すみだく ないかくふ えすでいーじーず みらいとし えら わたし まち ちから あ
2021年度、墨田区は内閣府からSDGs未来都市に選ばれました。私たちの街から、みんなで力を合
わけて持続可能な社会を目指しましょう!

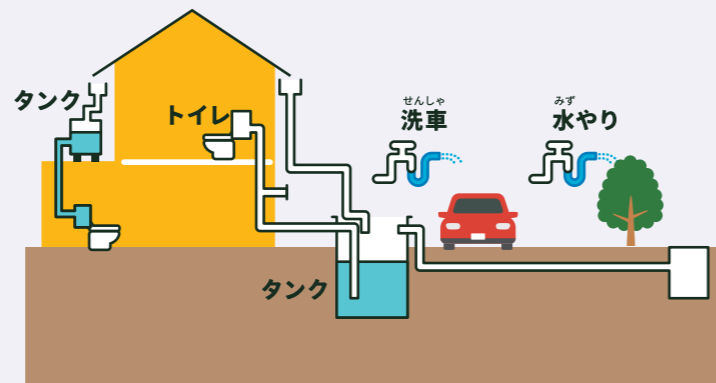
あまみずかつよう 雨水活用ってなんだろう

あまみずかつよう いえ たてもの やね ふ あめ たんく ため た あまみず はな みず
雨水活用とは、家や建物の屋根などに降った雨をタンクに貯め、貯めた雨水を花の水や
り、トイレの洗浄水などに活用することです。

た あまみず さいがいじ せいかつ つか みず かつよう
貯めた雨水は、災害時にも生活に使う水として活用できます。

あまみず よ
雨水を「うすい」と読むこともあ
りますが、墨田区では、貯めて
かつよう ばあい
活用する場合には「あまみず」
よ
と呼んでいます。

すみだくやくしょ せんじょう
墨田区役所でも、トイレの洗浄
すい かつよう
水として活用しています。



イベント

すみだかんきょう すみだ環境フェア

すみだく かんきょうげっかん がつ かん
墨田区では、環境月間である6月に「すみだ環
きょう かいせい
境フェア」を開催しています。このイベントでは、
ごみの げんりょう ちきゅうおんだんかたいさく
ごみの減量や地球温暖化対策などについて、
クイズやワークショップを通して楽しみながら
かんが かんきょうもんだい まな
考え、環境問題について学ぶことができます。



だいい かい あまみず せんこくたいかい いん あまみずフェスティバル・第14回雨水ネットワーク全国大会2024inすみだ

すみだく れいわ ねん がつ
墨田区では、令和6年8月に「あまみずフェ
たいばる だいい かい あまみず せんこくたいかい
スティバル」・「第14回雨水ネットワーク全国大会
2024inすみだ」を開催しました。このイベント
で、すみだく あまみずかつよう あまみず やく だ
で、墨田区の雨水活用や雨水が役に立つとい
じょうほう おお かた とど
う情報を多くの方に届けることができました。



かんきょうがくしゅう 環境学習

すみだく じょう かんきょう
墨田区では、インターネット上ですみだ環境
がくしゅう こうかい うち
学習ツールを公開しています。お家でもどこで
も、かんきょう たの たい
環境のことを楽しみながら学べるツール
になっています。



まずは
QRコードを
読み取ってみよう!

すみだく とりくみ かんが 墨田区にしてほしい取組を考えてみよう!



わたしたちの社会とごみ

社会とごみ

ごみと社会はつながっています。ごみが大量に出され、出されたごみが放置されたままだと私たちのまちが大変なことになってしまいます。そのため、住民・事業者・行政が協力して、ごみの分別・回収・処理をしています。

役割分担

住民

ルールを守り正しく分別、3Rにもとづいた行動



事業者

リサイクルしやすい製品の回収・再生・生産・販売



行政

ごみの収集・運搬、ごみ処理やごみの減量とリサイクルについての情報発信



地域の人々の活動

地域の人々の活動のひとつに、集団回収があります。集団回収とは、町会・自治会、PTA、マンション管理組合などの地域の団体が、家庭から出る資源を自主的に回収し、業者に引き渡すリサイクル活動です。墨田区では、集団回収をすすめており、多くの方が集団回収に参加されています。



企業の取組事例(ものを作る人)

花王株式会社

つめかえパックの水平リサイクル

私たちは、洗たく用洗剤、シャンプーなどのつめかえパックを回収して、再度つめかえパックに生まれ変わらせる取組を、たくさんの人と一緒にしています。リサイクルされることによりプラスチックごみを減らすことにつながっています。



企業の取組事例(ものを売る人)

イトーヨーカドー 曳舟店

食用油の回収

私たちは、家庭で使った油を店舗で回収する取組を行っています。回収した油は、せっけんやインクに再利用され、将来的には飛行機の燃料などへの活用を目指しています。曳舟店で使用済油を入れる専用ボトルを配っているため、ボトルを受け取って一緒に廃油リサイクルに参加しよう。

